

東北大学オープンキャンパスに参加しました(2017/07/25-26)

テーマ：東日本大震災、オープンキャンパス、高校生、研究発信
 場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2017年7月25～26日、東北大学でオープンキャンパスが開催されました。災害科学国際研究所は附属研究所であるため、学生は在籍しません。しかし、今年度5月の青葉山新キャンパスの正式オープンを受け、同じ新キャンパス内の他部局と協力し、オープンキャンパス来場者に向けて新キャンパスを紹介する共通チラシを作成しました。オープンキャンパス当日は、同チラシを各所で配布し、また、所を訪れた高校生と引率の方々に、当研究所の活動を紹介しました。

25日午前には、多賀城高校の理系生徒の来所を受けて、岡田真介助教（災害理学研究部門）が活断層について講義を行い、仙台平野を横切る長町一利府線断層について詳しく解説しました。また、25日午後～26日午後には、展示コーナーで研究活動を紹介する機会を計5回設け、岡田助教、寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門）、山下啓助教・林晃大助手（寄附研究部門）、杉安和也助教（リーディング大学院）が、それぞれ説明員として、当研究所の研究について解説しました。また、オープンキャンパス期間中、すべての来場者に向け、3Dドキュメンタリー映画「大津波3.11 未来への記憶」（今村文彦所長監修）25分版を上映しました。多賀城高校の生徒・引率の先生方は約95名、その他、2日間でのべ約70名の方々が当研究所を来訪されました。



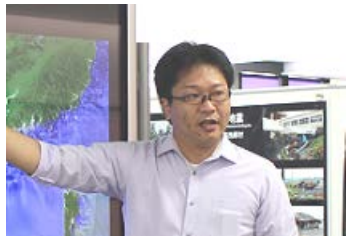
講義の様子



岡田助教



寅屋敷助教



山下助教



林助手



杉安助教



展示コーナーでの活動紹介



青葉山新キャンパス共通チラシ

文責：岡田真介（災害理学研究部門）、寅屋敷哲也（人間・社会対応研究部門）

山下啓、林晃大（寄附研究部門）、杉安和也（リーディング大学院）、中鉢奈津子（広報室）

写真：鈴木通江（広報室）